JCI　中性子線を用いたコンクリートの検査･診断に関する研究委員会（TC191A）
第 5 回委員会　議事録（案）

日時：2021 年 1 月 7 日（木）13：00～15：00
場所：Zoom 会議
出席者：小林委員長，大竹，兼松，久保，瀬古，長谷，五十嵐，石川，大野，岡崎，小野，金光，酒井，鈴木，富井，松沢
オブザーバー：水田
事務局：綿貫

資料
・【資料 5-0】第 5 回_委員会議事次第 210107
・【資料 5-1】第 4 回議事録(案)
・【資料 5-2】報告書目次案
・【資料 5-2'】報告書目次案
・【資料 5-3】中性子委員会シンポジウム・報告会-2 のコピー
・【資料 5-4】TC191A 論文募集会告案_ver3（綿貫修正）
・【資料 5-WG1-1】インフラ構造物（全体集約）
・会告（中性子線）59-02（088～090）_初校（校閲入り）
・【参考 5-1】Elsevier からの図表転載についてのメモ
・【参考 5-2】RTR Request Form_ARM
・【参考 5-3】RTR Request Form_JCI_18072019

1. 前回議事録の確認
小林委員長より前回議事録の確認が行われ，内容に関し了承された。

2. 報告書目次構成
・【資料 5-2】の 1 章と 2 章の間に中性子線を使用する装置の紹介を入れることとした。
RANS（担当：大竹)、原子炉（担当：兼松)、RI（担当：瀬古）
・【資料 5-2】の 2 章 インフラ（？）構造物における維持管理の現状と課題と 3 章 インフラ（？）構造物の劣化変状と非破壊検査技術のタイトルからインフラの文言を削除することとした。
・【資料 5-2】の 2 章と 3 章の鉄道構造物と道路橋 PC 構造物は内容が共通するため PC 構造物に変更することとした。
・【資料 5-2】の 2 章と 3 章に建築物の記載を行うこととした (FS では記載があったため)。
・【資料 5-2'】の通り、6 章に RANS を使用した久保幹事、五十嵐委員、酒井委員らの実験

成果を引用の形で紹介することとした。
・【資料 5-2】の非破壊調査に期待されるニーズの整理表は削除することとした。
・【資料 5-2】の文献調査リストは各章ごとに入れることとした。

3. WG 活動の報告
(1) WG1 （維持管理の現状と課題）
・長谷幹事から、WG1 の資料中に使用されている写真や図に、個々の作業性を高めるために各節ごとの番号を振ったが、最終的には全体を通しての番号を振るとの説明がされた。
　→各節ごとの番号のままでも構わない

(2) WG2 （中性子線活用研究動向）
・瀬古幹事から、大まかなスケジュールが報告された。
　1/15　各自見直し、提出
　1/18　各担当部分を合体
　1/末　内容のチェック
　2/上　WG で全体を確認、内容の確定
・海外文献の図表を引用については、現段階では引用予定がないが、瀬古幹事より再度確認を行うこととした。
　→岡崎委員が引用する予定

4 今後の予定
・全体委員会は 3 月に行うこととした。
・綿貫事務局より、シンポジウムは 9 月 27 日オンラインにて開催予定で、発表論文、委員会報告書共に 8 月 10 日が最終稿の締め切りとなるとの説明がなされた。
・小林委員長より、論文募集の会告が 2 月号の冊子に掲載され、論文内容の査読は行わないが、キーワードから外れるものは却下するとの説明がなされた。
・会告の原稿の左段 1 行目の「より」を削除する。
・綿貫事務局より、スケジュールの進捗はグーグルで管理するため、閲覧可能な委員は確認してほしいとの説明がなされた。
・小林委員長より、報告書作成の大まかなスケジュールの再確認がなされた。
　WG1：年度内、WG2：2 月、全体：7 月
・シンポジウム開催計画書はたたき台を事務局に作成していただき、委員会で確認することとした。
・久保幹事より、WG1 の図表等の転載許可をとるためのリスト作成をするとの説明がなされた。
・転載許可については学会ごとに依頼するが、JCI のひな型があるかどうか綿貫事務局が調

査することとなった。
・海外論文の転載については費用が発生するため、その費用の把握のために 1 月中に綿貫事務局に連絡することとなった。
・小林委員長より、海外論文の転載許可を取る場合、web 掲載と印刷物では費用が異なるが、JCI の報告書は将来 web 掲載されるため、申し込み内容に注意するとの説明がなされた。

以上